

特集 KRP-WEEK 2012 開催レポート

KRP-Styleを創る ~知恵を結集し、新たな京都を発信するまち~
基調講演からビジネスイベントまで2012年のKRP-WEEKを振り返る



KRP-WEEK 2012 開催レポート

2012 7.28^{SAT} ▶ 8.5^{SUN}

■KRP-WEEK
 主催：京都リサーチパーク(株)
 後援：近畿経済産業局、京都府、京都市、京都商工会議所

多くの人が集い、交わることで、新たなビジネスの動きを創造しようという総合イベント「KRP-WEEK」を今年も開催。起業や海外進出、IT、食育など幅広い分野のセミナー、シンポジウム、展示会など計33の多彩なイベントを9日間に渡って繰り広げ、8000人にのぼる方にご来場いただきました。

テナント様交流・PR展示会

IT分野や電気、企画、サービス、医療などKRP地区で活動している企業・団体から計35の展示ブースが集結。さまざまな商品やサービスの紹介を通じてテナント同士や来場者が交流し、活気あふれる場となりました。



基調講演 瀧本 哲史氏 「京都がツナガると、世界とツナガル」

今年の講師は『僕は君たちに武器を配りたい』『武器としての決断思考』などの著作を持ち、NHK NEWS WEB 24 ネットナビゲーターも務める瀧本哲史氏。「京都がツナガると、世界とツナガル」をテーマにお話いただきました。

〈瀧本 哲史氏 プロフィール〉
 エンジェル投資家。京都大学産官学連携本部寄付研究部門、イノベーションマネジメント・サイエンス研究部門客員准教授。

講演内容より

これからの世の中はカリスマによってではなく、いろいろな人がチャレンジすることによって変わっていくのいいと考えます。会社を成功させるにも素晴らしい仲間を集めることが必要で、大切なのはdiversity(多様性)とネットワーク。リーダーには自分と異なった価値観や知識を持った人たちと出会い、つながる力が必要で、そうした「弱いつながり」による集まりが成功をもたらすことは既に実証されています。明治維新やS.ジョブズなど、若い世代による大きな変革の陰にも、ベテラン世代のサポートがありました。

世代や専門分野の異なった人によるネットワーク型ビジネスの良さは、事業段階に応じてメンバーを選定できること、全然関係のない人や考えの合わない人がつながることによって創造的な変化が起きること、さらにネットワークによる「見えない結社」ができて、そのつながりから成功やイノベーションが生まれることです。

京都には、世界的な企業もあれば大小のベンチャー企業も集まっています。これらは一つの塊として競争力を持っており、イノベーションを起こす土壌として無限の可能性が広がります。この可能性ある京都で多様性を持ったネットワークがたくさんできれば、世界に打って出られる企業が多く誕生し世の中が変わっていくでしょう。そのためにはたくさんのハブが必要で、その条件として「ビジネスの見晴らしがいいこと」「基本的なスキルが学べること」「クラブのようにOBがさまざまな分野に分散してその支援があること」の3つが挙げられます。

多くのハブでさまざまな人がつながることによってイノベーションが起き、世界へと広がっていく。過去の事例や研究を見ればわかるように、それは必ず起きること、われわれができない理由はありません。今後、京都のつながりが世界へつながるような動きは必ず生まれてくると期待しています。

来場者様の感想

- いろいろな視点からの話が参考になりました。
- 本に載っていない話も聞いてよかった。多様性、ネットワークについて参考にします。
- 機関銃のような先生の口調と内容に圧倒されました。本を読んでみます。
- ハブの立場として意識が高まった。

- 講演内容は非常に面白く、ベンチャーを起こす上でも、新規企画立案・戦略策定の上でも有益でした。アントレプレナーの講演やイノベーション企業トップの講演も聞いてみたいです。
- テーマ、流れなどが最初わかりにくかったけど途中から理解できました。ものの見方や切り口の参考になりそうです。



ブースピックアップ

(株) シーズ

WEBシステム開発事業



来場者の中には大きなデータの送受信を必要とする方もいて、弊社サービスに興味を持っていただき幸いでした。KRPの他のテナント様とも触れ合うことができ、大変貴重な時間を過ごせました。

最大2GBの大容量ファイルを送受信できるメール配信サービス「デカメール」をPR。Web入稿が簡単にできる便利な機能を、サービスの操作体験もまじえて展示。

寿電設(株)

通信インフラ設備工事



パートナー企業様のご支援のもと、最新技術を活かしたソリューションを提供していることがアピールできました。また、使う側に立った貴重なご意見をお聞かせ下さったご来場の皆様ありがとうございました。

カメラ画像で入店者の男女・年齢層を分析するシステムや、LANネットワーク対応の人数計測システム、国内唯一の「調光機能付きLED省エネ型センサーライト」を紹介。

スリーアローズ(株)

移動販売の業務支援サービス



思っていたよりも賑やかで、他業種の人達との交流が楽しかったです。今回の出会いが今後の事業展開に繋がるかはこれから次第です。ありがとうございました。

低価格・高クオリティなカスタムカーによる、クレープとカフェの移動販売「街角カフェ」の認知度アップと、京都ならではの他業種との出会いを求めて初出展。

(株) シーリージャパン

マットレスメーカー



実際に商品を見てもらったり触れてもらったりし、ホテル導入実績などの話やセールスの告知もできました。今後も弊社のブランドを知っていただける企画があれば参加したいです。

全米ベッド業界を牽引する当社のブランドイメージ拡大のために、世界の一流ホテルに選ばれている「シーリーベッド」の上質の寝心地を、スプリングサンブルなどでPR。

仕事が楽しくなる ストレス軽減とリラクゼーションのお話

主催：(有)インターナショナルグラフィックス 共催：KRP(株)

明治国際医療大学附属総合医療センター長の今西二郎氏によるセミナー。ストレスと健康についての講演後、ストレス度チェックや、日常生活で簡単にできる自律訓練法を体験しました。



お役立ちCafé

4号館地下KOKOROではダイエットや旅行のお得情報など各企業様の特色を活かしたプチセミナーが開かれました。



主催：コス・パ京都リサーチパーク



主催：(有)エイチアイトラベル



テクノロジー&ビジネスプランコンテスト ×インデペンデンツクラブ共同セミナー 起業家として生きる道

主催：KRP(株)、(同)SARR、(株)インディペンデンツ



午前の部

テクノロジー&ビジネスプランコンテスト in KYOTO 2012 オープニングイベント

「ビジネスプラン作成講座
～人をひきつけるビジネスプランの書き方をお教えます!～」
講師：(同)SARR 代表社員 松田 一敬氏



松田 一敬氏

起業を成功に導くプランの作成ポイントを 分かりやすく的確に指南

「イノベーションの担い手である起業家を応援したい!」とコンテストの主催者(同)SARRの松田氏。「起業家度」を上げることが国や地域を活性づけるためにも大切、という想い、そしてネット環境の整備によって起業しやすくなったものの成功率は上がっていないという実態を講義し、資金提供者への説明資料としてのビジネスプランの重要性を強調。プラン作成のポイントとして「ありきたりではなく」「具体的に」「論理的に」の3つを指摘。記入フォームに沿った詳細な説明に、応募予定者や起業に関心をもつ経営者らが耳を傾けていました。

京都インデペンデンツクラブ 講演会「シナジーマーケティング 創業から今日までの道すじ」

シナジーマーケティング(株)
代表取締役社長 谷井 等氏



谷井 等氏

満足プラス1点のサービスを提供し 「あ・い・う・え・お」の秘訣で事業を成功

クラウド型顧客情報管理サービス、CRMシステムで国内NO.1の導入実績を誇るシナジーマーケティング(株)の谷井社長が、創業のきっかけから従業員200人を擁する上場企業となった現在までの道のりを、さまざまな人との出会いやその時々を思いをまじえて講演。友人3人でメーリングリストの会社を始めた当初から、満点にプラス1点の驚きや喜びを加える「101点のサービス」がモットー。ウェブを活用した効率優先の営業戦略や、実際の顧客を前提とした人材戦略、ターゲットを絞りこまない商品戦略など、通常の情報システム会社とは真逆の手法を採用。事業成功の秘訣は「あ(案-アイデア)い(員-人材)う(運)え(縁)お(恩)」にあったと結びました。

京都インデペンデンツクラブ 事業計画発表会

グリーンロードモーターズ(株)
(株)旅のお手伝い楽楽



ベンチャー企業2社の豊かな将来性を 感じさせる熱い事業計画

シナジーマーケティング(株)の谷井社長の講演に続き、京都インデペンデンツクラブとしてベンチャー企業2社が事業計画を発表しました。1社目は、アジアで唯一の電気自動車スポーツカー量産メーカーを目指す、『グリーンロードモーターズ(株)』。2社目は、介助付きバリアフリー旅行の企画・運営を行なう『(株)旅のお手伝い楽楽』。2社とも京都らしい独特のビジネスプランで、豊かな将来性を感じさせる分かり易いプレゼンテーションを展開。発表後には、会場の参加者やコメンテーターの方々からさまざまな質問やアドバイスがあり活発に意見が交わされました。これから起業を目指す参加者の方々からは、大いに参考になったとの声も聞かれ、事業計画発表後の交流懇親会でも積極的な意見交換や交流が生まれる有意義な会となりました。



来場者様の感想

午前の部
自分の考えで抜けていた視点をいくつも取り上げられていて、大変参考になりました。

午後の部(講演会)
「人を育てる」大賛成。今の子どもを育てている「親」を育てる。という発想はなかったので目からウロコというか、大変共感を受けました。

午後の部(事業計画発表会)
新しい市場へのチャレンジということで色々な苦悩があったと思いますが、それに1つずつ対応し事業化に向けて着実に進んでいかれているという印象を受けました。

京都クラウドコレクション2012 『知って得するクラウド活用術』 ～事例で実用紹介～

主催：(財)京都高度技術研究所、ITコンソーシアム京都、KRP(株)
共催：京都商工会議所、京都銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫、
京都コンピューターシステム事業協同組合、NTT西日本 京都支店
後援：京都市

クラウドコンピューティングの活用術について紹介する今年の「京都クラウドコレクション」。午前中は、導入にいたる理由から導入後のメリット・デメリットについて各社の事例を具体的に紹介し、会場からも質問が出るなど活発に意見が交わされる場となりました。基調講演では、(株)エフビーズシステムエージェンシーの磯部一郎氏が「ソーシャルメディア×スマートフォン×クラウドの活用術」と題し、これらを利用して、価値ある情報をどのように取得していくかについて語られました。170人を超える来場があり、クラウド導入に対する関心の高さがうかがえました。



これらを利用して、価値ある情報をどのように取得していくかについて語られました。170人を超える来場があり、クラウド導入に対する関心の高さがうかがえました。

海外なう。 日本は海つづき、海外へ飛びだそう!

主催：KRP(株) 共催：(財)京都高度技術研究所
後援：ルクセンブルク貿易投資事務所、香港貿易発展局大阪事務所

海外をビジネスの視野に入れようと約80人が猛暑の京都に集まりました。セミナーでは、ルクセンブルク、カナダ、香港、イギリスから、主にコンテンツやその周辺技術にかかわるICT系企業向けに、各国の業界の状況や海外進出の際に活用できる制度や、業界の海外展示会への出展・視察の優遇制度のプレゼンがありました。また、実際に展示会等に参加された企業の方が、リアルな現地体験を披露されました。

来場者様の感想

- ・香港に会社設立を予定しているので参考になりました。
- ・情報収集に役立ちました。特に海外事情。
- ・4カ国の話を比較して聞けてよかったです。

第38回KNS定例会 in KRP

主催：関西ネットワークシステム(KNS) 協力：KRP(株)
後援：近畿経済産業局、中小機構近畿、京都府、京都市

産学官民の交流・連携をはかる関西中心の人的ネットワーク、KNSの定例会が、初日を飾って開催。基調講演では(株)堀場製作所の最高顧問・堀場雅夫氏が、人間の能力の素晴らしさと存在の「はかなさ」を再認識し自ら道を切り開く「面白さ」を熱く語られ、活動報告では京都市産業観光局の白須正氏による京都の強みを活かした産業政策など5例を報告。メンバー40人による恒例プレゼンテーション大会の後、交流会がスタート。



交流会がスタート。ロンドン五輪に負けない熱気あふれる定例会となりました。



Startup Weekend Kyoto

主催：Startup Weekend org



京都で3回目となる『Startup Weekend Kyoto』が8月3日から5日までの日程で行なわれました。37人のStartup志望者やStartupに興味を持つ参加者が集まり、リピーターからフレッシュな顔ぶれの大学生まで多彩なメンバーが揃いました。なかには、遠路東京からやって来た人、香川から海を越えてやってきた大学生もいました。また、多くの若い起業家が参加者へアドバイスをするメンターやジャッジとして参加。今回の特徴は、人と人とを結びつける「絆」を結ぶサービスが多く生み出されたことです。そんな中、優勝したのは、『おしゃべりバナナ』。日本人なら誰もが憧れる同じ電車に乗る人



同士を結びつけるアプリです。着眼点の良さと手軽に誰もが使いたいと思わせる点に評価が集まりました。第1回から審査員を務める(株)はてなの近藤淳也社長は、「回を重ねるごとにレベルアップしてきている。長期的にこうした取り組みが、京都から素晴らしいベンチャーが生まれることにつながると思います。」と感想を述べられました。



優勝チームのコメント

- ・オーガナイザー、メンター、審査員、参加者の皆様のサポートのお陰でここまで来れました!このお返しはサービスを大ヒットさせることでしようと思います!
- ・このような貴重な機会を与えてくださった皆様、本当にありがとうございます!より多くの方が、この感動を味わうことを願っています。
- ・非常に濃い週末を送ることができ、大変貴重な経験をたくさんさせていただきました!

オープンソースカンファレンス2012 Kansai@Kyoto

85の展示ブース、70以上のセミナーにのべ1200人
京都でIT技術の最新情報にふれ、交流した2日間



主催：オープンソースカンファレンス実行委員会
協力：KRP(株)



ソースコードを公開しソフトウェア開発を進める「オープンソース」の見本市が8月3・4日に開かれ、IT技術者や企業関係者、学生らのべ1200人でにぎわいました。会場には85の企業・団体による展示ブースが設けられ、幅広いテーマで70以上のセミナーが無料で開かれました。オープンソースの最新情報を提供するとともに、案内窓口や展示ツアー・ガイド、スタンプラリーなど初参加でも楽しめる企画を用意。学生や有志の発表者11人のライトニング・トーク大会で閉会を迎え、その後の懇親会では、140人以上が集い開発者同士の交流を楽しみました。

来場者様の感想

- ・オープンソースに広く触れる機会となり、大変充実した時間を過ごすことが出来ました。また京都で開催されるのであれば、是非参加したいと思いました。
- ・参加グループがとても多く面白かった。
- ・学生にはすごく刺激的で色々なノウハウを持ち帰れて、今からワクワクしています。

イノベーションイニシアティブ キックオフセミナー

～ものづくり中小企業の国際戦略～ 主催：KRP(株)

電子技術・エネルギーシステム分野の産業振興・新事業創出のためのプラットフォーム事業「イノベーションイニシアティブ」の2012年度の取り組みがスタート



「イノベーションイニシアティブ」今年度事業のキックオフにあたる今回のセミナーでは、神戸国際大学経済学部 中村智彦教授により、海外企業の成功事例や地域の力を活かした国内の企業連携事例の紹介などを通じて、企業が国際展開の際に必要な技術開発や経営戦略についての講演が行われました。また、中小機構近畿東孝一コーディネーターにより、企業の事業展開を現場で支援する視点からの事例紹介がありました。最後に、今年度事業の概要説明も行われ、参加者からは、自社技術を活かすビジネス展開への意欲が高まったなどの声も聞かれました。

来場者様の感想

- ・中小企業の国際化戦略として新たな情報もいくつか含まれていました。
- ・製造業の海外展開について、本社と工場の役割を整理して仕事に取り組みたいです。
- ・具体例が多く、中小機構の取り組みが良く分かりました。

食の安全・安心フォーラム

食生活の安心に向けて
～食の安全はどのように守られているのか～

主催：(財)京都高度技術研究所、(公財)科学技術交流財団 共催：KRP(株)
後援：(独)科学技術振興機構、京都市、京都府、京都バイオ産業技術フォーラム

私たち消費者にとって重要な問題である「食の安全・安心」。食の安全性を高めるためといった研究が進められているのか、実際の検査や研究に従事する研究者らが最新情報をわかりやすく解説するフォーラムが開催されました。基調講演では、(公財)科学技術交流財団の斎藤勲主幹研究員が「科学技術が進歩し目に見えないものを



「見える化」することで、食の安全・安心に貢献できる」と述べ、科学技術による食の安全について講演しました。続いて第一線で活躍する研究者らによる講演が行われ、前半は食品分析の最前線について、後半は行政・生活者・食品事業者の異なった立場からそれぞれの取り組みを報告。いま注目度の高い放射能汚染や食中毒などについても最新の研究報告があり、それぞれ熱心に耳を傾ける参加者の姿が見られました。



京都市産業技術研究所 市民オープンセミナー ～夏休みの思い出にものづくり技術の体験を～

主催：京都市 共催：京都市染織試験場運営協力会・京都ものづくり協会

京都のものづくり技術を、展示・実演・体験を楽しみながら知ってもらおうと、産業技術研究所内を公開して開催。1階エントランスで開かれた「陶&くらしのデザイン展2012」では、最新技術と伝統の融合をはかる各地の作品が展示されました。また、所内の各施設では、金属を溶かし鋳型に流し込む技術や人の動作でロボットアームを動かすシステムなどの実演・体験コーナーが設置され、普段ふれることのない産業技術を間近に見られる機会とあって来場者は熱心に見学。体験教室では、天然染料によるハンカチ染めや、繭玉の糸繰りから染織を体験する携帯ストラップ作り、漆を使った絵付けなどに親子連れが挑戦し、この夏の親子の思い出に、自由研究のテーマ探しに、と真剣に取り組んでいました。



五条七本松手作り市 KRP-WEEKスペシャル

主催：(株)レシピア、KRP(株)

毎月DILIPA京都で開催している手作り市。KRP-WEEKスペシャルとして、約30の出店があり、体験コーナーも設けられました。



サルサナイト

主催：サルサ実行委員会 協賛：KRP(株)

グラス片手にサルサで夏満喫！アトリウムでは、西日本トップクラスのサルサバンド「BANDA LIBRE (バンダ リブレ)」の熱いライブが繰り広げられました。



食育WEEK in KRP

食育シンポジウム ～「だし」は地球を救う～

主催：京都府、きょうと食育ネットワーク、大阪ガス(株)
後援：京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都市

基調講演 (伏木 亨氏 京都大学大学院教授)
シンポジウム/活動事例報告/パネルディスカッション

「和食」の世界遺産登録を推進するため京都ならではの食育を考えようと集まった食育実践者や教育関係者ら約200人が集まりました。京都府の山田知事は、「和食の味わいが子どもたちの健康や情緒を育てる文化となしてほしい」と挨拶。基調講演では伏木教授が「『おいさを科学する』だし的重要性と未来」と題して、日本の「だし」は、「『うまみ』と『風味(香り)』によって成り立つ、純粋なおいしさのもの」と解説。健康的な食生活のためには、幼少期から「だし」の香りに親しみ和食嗜好になることが大切だと話されました。続いて、食育の活動事例報告が行われ、「だし」をテーマにしたパネルディスカッションではさまざまな意見が交換されました。



山田 啓二京都府知事



「和食」の素晴らしさをワンコインで！ (売切御免！)

主催：日本料理文化博覧会実行委員会 協力：大阪ガス(株)



料理研究家 杉本節子先生による「びっくり!エコ100選」ワークショップ親子料理教室「おぼんざい」作りを通してecoを学ぼう! 主催：大阪ガス(株)



KRP東地区京都府産業支援センター内「京都府中小企業技術センター（以下センター）」が、2012年8月に創立50周年を迎えられました。これを記念し、7月30日から8月3日にかけて、記念式典や講演会、センターの活動を幅広く知ってもらうための見学会や研究発表会などが開催されました。

記念式典・記念講演

記念式典は来賓を含むおよそ300人が出席しました。京都府の太田昇副知事が挨拶。センターの技術指導を支えた京都府中小企業特別技術指導員と、研究開発や運営などに指導・助言を行った研究課題外部評価委員に



対して感謝状が贈呈され、経済産業省近畿経済産業局の国吉浩地域経済部長が来賓が代表して祝辞を述べられました。

記念講演は清水寺の森清範貫主が「心はすべての発信源」と題し、仏の教えについて多くの逸話を交えてわかりやすく解説。人間の心は善悪が入り交じった複雑なものであるが、これほど確実に大切なものはなく、すべての事象には必ず心が先に存在する、一つの命が成り立つためには無量の支えとの「絆」がある、と話されました。最後に「仕事をする際に最も必要な相手への思いやりを



森 清範 清水寺貫主

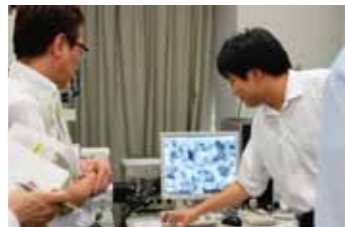
表す漢字」として、府内中小企業のために揮毫した「仁」の額を披露。式典・講演に続いて祝賀会が開かれ、センターの50周年を多数の参加者で盛大に祝いました。

新発見!中セン体感ツアー

京都府中小企業技術センターでは、企業の技術上での問題解決や、新製品・新技術の開発促進を図るため、様々な分野の研究室で、横断的に相談・助言を行っています。今回、その研究室の一部を紹介し、7つの技術分野をリレー形式で訪ねるツアーが開催されました。研究開発や品質管理に携わる方々約40人が参加し、機器を実際に見たり触るなどして、使い方や活用方法を体感していました。



材料試験室「金属を引っ張ってみよう!」



電子顕微鏡室「ミクロの世界へようこそ!」

平成24年度センター研究発表会

材料・表面、電気・電子、デザイン、食品の各分野の研究結果の発表、報告がありました。



センター見学会



50周年記念展示公開 ~中センの歩みと技術支援の紹介~

府内中小企業のものづくりをサポートする裏方として これからも気軽に活用されるセンターでありたい

京都府中小企業技術センターの歴史は、1962年の京都府立中小企業指導所に始まります。高度経済成長とともに技術支援・研究開発へと業務をシフトし、現在は技術支援に特化した機関として府の産業支援の一翼を担っています。

50年にわたって、府内の中小企業がかかえるさまざまな問題解決をサポートする役割を果たしてきました。技術力向上や現場でのお困りごとの

アドバイスなど技術に関する無料相談をはじめ、機器貸付・依頼試験・研究開発などを中心業務としています。

厳しい時代ではありますが、環境や医療などニーズが高まりつつある分野もあり、ビジネスの可能性は広がっています。当センターでは、幅広いサポートをしていますので、企業の方々にはぜひ気軽に窓口へご相談いただけたらと思います。



京都府中小企業技術センター 所長 小林 章一氏

Interview

KISTIC 光学技術基盤プラットフォーム プロジェクト代表 京都大学大学院工学研究科 材料化学専攻

平尾一之教授 紫綬褒章受章

京都大学大学院工学研究科教授の平尾一之先生が、先端光加工技術分野で果たしてきた多大な貢献や、京都市イノベーションセンター長を務めるなど人材育成にも力を入れてきたこれまでの功績が評価され、この春、紫綬褒章を受章。7月8日には学術・産業界を中心に約300人が集う盛大な祝賀会が開かれ、発起人代表として京都市産業観光局長の白須正氏、続いて(株)堀場製作所最高顧問の堀場雅夫氏、京都大学産官学連携本部長の牧野圭祐氏から祝辞が述べられました。平尾先生を慕う学生も多く集まり、終始和やかなムードに包まれたお祝いの会となりました。

この度のご受章を機に、平尾教授の研究業績や日本のものづくりとの関わり、また、KISTICにてプロジェクト代表を務める「光学技術基盤プラットフォーム」について、プロジェクト開始から1年の成果と意義についてお話を伺いました。



Profile

1951年生まれ。京都大学工学研究科材料化学専攻 教授 工学博士。京都市イノベーションセンター長、JSTやNEDOにおける研究プロジェクトリーダーのほか京都環境ナノクラスター副研究統括および研究代表者を務める。国際ガラス委員会Gottardi賞、米国セラミックス協会Morey賞、中国科学院 国際学術貢献賞など国内外の受賞多数。



材料化学や応用物理学の基礎研究を重ね、千兆分の一秒という「フェムト秒」で光るレーザーでガラスを加工する「超短パルスフェムト秒レーザープロセッシング技術」を独自に開発しました。この技術をもとに広範囲な材料の三次元加工を低コストで効率よくできる装置を開発し、光集積デバイスや超高密度メモリ、高機能ディスプレイなどの実用化促進につながりました。その装置の代表が「フェムト秒レーザー加工装置」や「金属光造形複合加工装置」です。

日本のものづくりが中国・台湾・韓国などとの熾烈な国際競争で勝ち抜くためには、最先端加工が重要な鍵となります。今、ものづくりを行なう多くの中小企業が三次元加工を低コストで効率的に行なえるこれらの装置を必要としているのです。KISTICの「光学技術基盤プラットフォーム」では、こうした高価な装置を時間単位で廉価で使える場を提供し、併せて研究者による使用技術の指導を行なっています。ここは、技術者と研究者が互いの技術をつなぎ、世界に打って出られるような技術や産業を創出できる「場(プラットフォーム)」だと言えます。プロジェクト開始から1年がたち、施設の利用率も伸びていますし京都の大手ベンチャーを中心に共同研究の申し込みも増えています。将来は、桂イノベーションパーク、京都大学*と並ぶ、新産業の創出拠点として、今後ますます重要になっていくでしょう。

50歳になったら社会貢献をしなければならないというのが私の持論です。基礎研究をし、その成果を社会に還元する。今は、さまざまなプロジェクトや共同研究のほか、世界最大のリチウム保有国で関連産業の発展を目指すボリビアから研修生を受け入れ技術指導をしています。人を育てていくことが重要だと感じています。

優れた技術は次の時代へとつないでいかないとけない。1200年もの間、途絶えることなく受け継がれてきた比叡山の法灯のように。油を注ぐことを怠り、「油断」することで、連続と受け継がれてきたものがそこで途絶えてしまわないように、人と人が連携し素晴らしい人類の成果としての技術を、未来永劫につないでいくことが大切だと思います。



金属光造形複合加工装置

*京都大学次世代低炭素ナノデバイス創製ハブ拠点 <http://www.mnhub.cpi.kyoto-u.ac.jp/index.html>



紫綬褒章受章お祝いの会



株式会社スピノフ 代表取締役
松浦,Matthew,哲也氏 (6号館2F)

東京生まれ。立命館大学卒業後、米国ニュージャージー州の大学に留学、経営学修士号取得。川崎重工業で発電プラントの海外営業に10年間従事。31歳で大塚商会に入社し携帯電話事業へ転進、J-PHONE、ポータフォン、ソフトバンクモバイルの営業を担当後、個人コンサルタントとして独立、2008年株式会社スピノフを設立。2012年、宇治田原の老舗製茶会社「光露園」取締役。香港市民。

京都ブランドの素晴らしさを通じて日本の“元気”を世界へ発信したい。

携帯ショップの企画立案から導入・保守業務までのコンサルティングと、香港を拠点としたGoogleの正規代理店業務を主とするスピノフは、7月に本社をKRPに移転。国内では京都と横浜、海外では香港に加え米国デラウェア州に法人を設立し米国での宇治茶のネット販売ビジネスに乗り出しました。

日本では「宇治茶」は高級茶の代名詞として有名ですが、アメリカで「宇治茶」はあまり知られていません。そこで、妻の実家が宇治田原で茶業を営んでいる関係から、製造工程や飲み方、茶の湯の歴史などお茶文化のすべてを販売サイトで紹介し、日本の文化を含めて発信することができないかと考えました。アメリカの販売サイトで主流になっているチャットシステムに当社のノウハウを活かせるメリットにも着目しました。1年の3分の2を海外で営業している感じるのは、今の日本は世界からちょっと軽く見られているのではないかと、という寂しい思いです。その一方で日本の底力は知られている。素晴らしい京都ブランドの一つである「宇治茶」を広めて、日本の健在ぶりを海外にアピールすることができたらと思っています。もちろん現在のメイン事業である携帯ショップの管理システムについてもこれまで通りしっかりと運営しながらですが、新たな夢へ挑戦する気持ちは常に持ち続けたいですね。

東京生まれですが、大の「アンチ巨人」だった父親の影響と京都での学生生活で、熱烈なタイガースファンになりました。海外出張の日程を甲子園の試合日によって調整することもあるくらいです。大事な試合のためにわざわざ帰国の空路を変更し関空から試合へ直行、なんていう離れ業の経験も…(笑)。

京都は伝統的なものを大切にする一方で、先進性から門戸を開きやすい。こんな面白いまちはないですね。KRPは京都の先進性に特化されたような場所ですから、ある意味で京都らしい場所ですね。仕事空間やロケーションを重視するタイプなので、9号館のたたずまいが気に入っています。新事業が軌道に乗ったら、ぜひオフィスも9号館に、と思っています。



シーサー株式会社 新規事業開発部部长・京都分室室長
長村 新氏 (6号館2F)

デザイン学校でグラフィックデザインを学び、制作会社でウェブ・モバイルから印刷媒体までのディレクションを担当。4年間モバイルの公式サイト運営に携わるなかで、ウェブやアプリを統合展開できる仕事を求めて、シーサー株式会社に入社。ブログ以外のサービスを立ち上げる新規事業部の部長として、この5月からKRP地区に開設された京都分室を率いる。

東京とつながりながら、京都で発想する。アプリや新事業の企画にやりがいを感じます。

シーサーブログなど自社サービスのブログ運営とOEMによるブログサービスを中心に事業展開するシーサーでは、2年前から新規事業としてブログ以外のインターネットサービスを展開。Webフォントの「デコもじ」や電子書籍サービス「forkN」などを打ち出しています。新たな開発の拠点として設けたのが、京都分室です。こちらではアプリ開発を中心に、営業や既存の事業その他は東京が中心。さらにIT分野にしばられない新規事業の開拓を目指してスタートしました。東京本社からのスタッフは私一人ですが、特に問題もなく順調に開設できました。一番苦労しているのは新天地で生活を送ることになった妻かもしれませんね(笑)

分室をなぜ京都で立ち上げたかということ、ちょっとした観光気分でも……というのは冗談ですが、関西がいいと思いついてきたときに偶然知人からKRPを紹介されました。設備や規模・立地などが希望する条件にかなっていたので、即、決めました。実は父親が京都の会社に勤めていましたし親戚や知り合いも多いので、京都は親しみのある場所なのです。今は小さい子どもがいるので難しいですが、町家を利用した店などにも行って京都らしさを満喫したいですね。

KRP周辺にはランチの店もいろいろありますし、フィットネスクラブも地区内にあるので便利です。仕事面では地区内の同業他社と情報交換しやすいという利点があります。その一つが同じ6号館に入居している株式会社シーズとイントフロード株式会社との月1回の勉強会。テーマを決めて、5分程度のプレゼンテーションをするLT形式によるもので、毎回30人ほどが集まって活発に意見交換を行っています。新規事業部はITに限らず、専門ショップでもゲームセンターでも何でもオーケーというスタンスなので、こうした環境から新しいものが生まれるのではと思っています。東京ではできない自由な発想の企画を、自社のWEBサービスを持つシーサーならではの強みも生かしながら展開していきたいです。



合同会社LX

KRP4号館4F

- ・ 公衆無線LANの企画、ネットワーク構築・運営・管理事業
- ・ 無線LAN設備レンタルサービスに、ネットワークサービス (Mobile)、街中の情報配信サービス (infomation)、高精度位置情報サービス (Location)、動画サービス (Movie)を組み合わせたトータルソリューション (@iPサービス)の提供

合同会社LX ●TEL/075-874-1457 ●FAX/075-874-1458 ●MAIL/info@llx.jp ●URL/http://www.llx.co.jp/



廣瀬 丈矩 代表社員



株式会社スピノフ

KRP6号館2F

コンピューター及びコンピューター周辺機器の保守業務、コンピューターシステム構築及びその保守業務をメインに展開しています。

株式会社スピノフ ●TEL/075-874-1950 ●FAX/075-874-1951
松浦,Matthew,哲也 代表取締役 ●MAIL/info@spinoff.hk ●URL/http://www.spinoff.jp/

エム・アイ・エンジニアリング株式会社

KRP4号館4F

空調給排水衛生(設計・施工)ほか関連工事を行なっています。

エム・アイ・エンジニアリング株式会社 ●TEL/075-874-3959 ●FAX/075-874-5909
岩垣 高広 代表取締役社長 ●MAIL/m-i-e@violet.plala.or.jp

スリーアローズ株式会社

インキュベーション・スペース VIO ASTEM 7F



低価格・高クオリティな移動販売用カスタムカーの販売が主軸事業です。実際にカフェ業態の移動販売事業で培った経験を活かし、独立開業希望者への研修やメニュー提案など幅広いサービスを提供致します。『街角カフェ』はオーナーにとって自由度が高く、ロイヤリティーも不要。直接の出店も致しますので、イベントなどの際には是非、お声掛け下さい。

スリーアローズ株式会社 ●TEL/075-315-8881 ●FAX/075-315-9297
林 集 代表取締役 ●MAIL/info@machikadocafe.com ●URL/http://www.machikadocafe.com



第2回 東北エリア・KRP地区内企業様懇談会を開催



KRP-WEEK2012「テナント様交流・PR展示会」へ出展された東北エリアの企業・機関と、KRP地区企業とのビジネスマッチングの可能性を探る懇談会が7月31日に開催された。

昨年12月の第1回懇親会は、「東日本大震災復興支援特別企画～手を繋ごう、社の都と京の都～」(H23年12月8日、主催：京都市、京都シニアベンチャークラブ、(財)高度技術研究所、場所：KRP)と題し、KRP地区内のもづくり系企業及び、東北エリアの支援に積極的に関わる企業と東北エリア企業・機関との懇談会として行なわれた。第2回目となる今回は、ICT系の企業との懇談会を実施。他地域と連携して開催するイベント「モバイルコンテンツサミット」(岐阜県、札幌市、仙台市)や、仙台市で開催されるイベントAppCon EAST JAPAN (スマートフォンアプリコンテスト) (主催 Fandroid EAST JAPAN) の紹介、また、ICT系企業ならではの実際的な内容のやりとりもあり、活発な情報交換が行なわれ、第3回への期待が高まる内容となった。

<東北エリア参加企業・機関>
アンデックス (株)、みやぎモバイルビジネス研究会、(公財)仙台市産業振興事業団

<KRP地区内(京都市内)参加企業・機関>
(株)イー・エージェンシー、イントフロード(株)、京都エンタテインメントワークス(株)、(株)トランスフィールド、(株)ハイパーテック、(株)フューチャースピリッツ、京都市、(財)京都高度技術研究所



KRPサークル紹介

KRP写真部

部員数：10人 活動：月2～3回 費用：実費



楽しくて感動的、そして手軽な写真 「写真のある生活」はじめませんか？

「写真をもっと身近に楽しもう」をテーマに、撮影会と作品合評会を中心に活動中。撮影会では、「旅」気分ですら京都以外の土地へ遠征することも。プロのカメラマンを講師に迎えての活動もあるのでスキルアップもでき、写真の楽しさが広がります。

代表者インタビュー



イントフロント株式会社
代表取締役社長
龍野 優也 (りゅうの・ゆうや)氏

中学時代から写真が好きで、最近本格的に趣味として再開しました。記憶や体験を自分の好きな形で残しておくこと、それが写真の最大の魅力だと思います。撮るだけでなく、プリントしてフレームに入れ飾ってみると、写真の重みや面白さがまた違ってきます。作品合評では、メンバーそれぞれのアプローチ方法を見て「あ、こんな風に撮っていたんだ」と毎回発見があり楽しみです。写真の楽しさを大勢の人に知ってもらいたいと思いで活動していますので、初心者の方も大歓迎です。男性部員が多いので、女性の方の参加もお待ちしています。



お問い合わせ先

活動内容や今後の予定についてお気軽にご連絡ください。コンパクトデジカメでの参加も歓迎！

E-mail : krpphotoclub@gmail.com
facebook : <http://www.facebook.com/krpphotoclub>



今年も開催！ KRP七夕まつり

日時：7月30日(月) ※京の七夕協賛事業



KRP地区や近隣の皆様への感謝を込め、七夕まつりを今年も開催。森内社長の音頭で始まり、家族づれで金魚すくいや抽選会などの縁日コーナーを楽しむ方、飲み物を飲みながら歓談を楽しむ方など、皆様それぞれに真夏の夕べをお過ごし下さいました。



京都ならではの感性とこだわりの 新しいMade in Kyotoを発信

10月5日から8日までの4日間、京都ならではの感性とこだわりの新しいMade in Kyotoを結集し、首都圏から全国へ発信するイベント「Cool Kyoto 2012」が赤坂サカスで開催されます。世界的にも評価の高い「Cool Japan」に通じ、かつ「知恵の街・京都」で生まれた技術や感性が現在のライフスタイルに生きている「Made in Kyoto」製品。これらを一同に集め、世界を目指して販路を開拓し新たな京都ブランドを構築します。KRP町家スタジオも出展する本イベント、ぜひ京都のパワーを感じにご来場ください。

開催日 平成24年10月5日(金)～8日(月・祝)

場所 赤坂サカス

(Sacas広場、赤坂ギャラリー、サカスウイングなど)
〒107-6301 東京都港区赤坂5丁目3-6

お問い合わせ先

Cool Kyoto2012実行委員会事務局 (担当：田村・岩野)
TEL：075-255-7263 / FAX：075-255-7621
MAIL：cool-kyoto@leafkyoto.co.jp

編集後記 大変暑い中、心配された計画停電もなくKRP-WEEKが盛況裏に開催されました。今年は2年目ということで地区内の皆様に多大なご協力をいただき、昨年の1.5倍のイベントが催され、2倍の来場者がありました。本当にご協力ありがとうございました。これからも毎年この時期の恒例行事として育てていきたいと思っておりますので、皆様方にもうまくこの場をご活用いただければ幸いです。

配送・停止・変更のご希望は、
右記内容を明記の上
press@krp.co.jpへ

配送 ① 〒、住所 ② 団体名 ③ 部署名 ④ お名前 ⑤ TEL/FAX ⑥ メールアドレス ⑦ 「配送希望」 ※定期配送も可能です
停止 ⑧ ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨ 「配送停止希望」
変更 ①～⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.

vol.126
September
2012

KRPRESS www.krp.co.jp

○編集・発行／京都市ササキパーク株式会社 〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町134番地 (ASTEM棟4階)
TEL: (075) 322-7800 FAX: (075) 322-5348
○編集長／池山 博文 ○取材・編集・デザイン・制作・印刷・配送管理／株式会社情通レゾナンス

KRPコラボマガジン配信中!

毎月10日&25日配信中
<http://www.krp.co.jp/pub/maga.html>